

令和4年度事業報告

1. コロナ禍でも順次活動再開

1) 活発な交流の機会となった総会



昨年の総会は5月14日（土）、「草加宿今様本陣」2階を会場に開催しました。この場所は草加駅から草加松原に向かう結節点に位置し、直近には「芭蕉像」「曾良像」もあり、かつては料亭のあった場所。1階の物品販売コーナーでは南三陸物産コーナーが設置されるなど当稲門会活動にも深く関連した施設となっています。

コロナは依然として厳しい状況にあり、総会では前回につづき懇親会は控えさせていただきましたが、游玄亭玉八師匠（ゆうげんていたまはちししょう）に江戸時代を中心に花開いた伝統芸能の幫間芸（ほうかんげい・太鼓持ち）を披露していただき、参加者全員のみなさんから近況報告をいただくなど楽しい交流の機会となりました。



2) 機関運営の見直し、気軽に参加できる企画の実施

一部に集中していた事務局体制を見直し、総会関係、役員会、各部活動など各役割を分散し、負担軽減をはかりました。役員会は6月、8月（懇談会）、9月、12月、1月、3月、5月に開催、12月以降は懇親を兼ね行いました。

また活動についてもコロナ禍で部活動は制限されましたが、年度後期は誰でも企画し、少人数でも気軽に楽しめる以下の取り組みを実施しました。

（カッコ内記載は呼びかけ人）

- ① 国際文学館（村上春樹ライブラリー）
ー 見学・懇親会（源兵衛）
（堀野、三根）
・ 9月8日（木） 9名参加



- ② 濱守栄子13周年記念ライブ（鈴木）
・ 10月15日（土） 17:00～ 7名参加
「MJハウス」南千住 モンゴル料理馬頭琴・生音楽の店
- ③ 松岡和子「シェイクスピア完訳記念：ページとステージ行ったり来たり
ー シェイクスピア劇全37作品の翻訳を終えて」（嶋根）
・ 10月17日（月） 18:30～ 3名参加 小野講堂

3) HPの更新

今年度も「落研と私（第5回）」で林会員より総会での游玄亭玉八師匠（ゆうげんていたまはちしょう） 幫間芸（ほうかんげい・太鼓持ち）などを紹介、和栗会員、三根会員より「村上春樹 ライブラリーを見て」、青柳会員より「第三回落語江戸町歩き顛末記」を掲載いただきました。

当稲門会のHPはコラム欄をはじめ他稲門会と較べても特徴があり、会員のみなさんの協力を得ながら一層の充実をはかりたいと思います。

4) 新たな会員獲得をめざして

新たな会員の獲得に取り組んでいきたいと思っています。大学校友会から資料を取り寄せ、今回総会が八潮で開催することから八潮の未加入校友に総会案内を送ることにしました。こうした取り組みを今後も継続していきたいと考えています。